



校長室通信 2024

なつつばき

南河内第二中学校

令和6年度 NO. 6

令和6年11月1日
発行責任者 田澤 孝一

令和6年度 夏椿祭、大成功!!

テーマ: 思い出

～ 風よ吹け! 夏椿のような鮮やかな時を ～



10月26日(土)に、本年度の夏椿祭(つばきさい)を開催し、午前中は、保護者の皆様、二中学区の小学生、地域の皆様にご来場いただき、賑やかな文化祭になりました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

昨年度に引き続き、各クラスで考えた催し物(喫茶店やゲームコーナーなど)を楽しんでいただきました。また、PTA本部の企画として、ママカフェやパン・小物販売、小山高専の生徒によるサイエンスクエストなどなど、盛りだくさんの内容を盛り込んだ夏椿祭となりました。

午後の部は、生徒と保護者の皆様に限定させていただき、少年の主張や英語スピーチ、広島派遣の報告、生徒の有志によるダンスや歌唱の発表がありました。選抜合唱団の歌や吹奏楽部の演奏を楽しみました。そしてサプライズ企画として、生徒代表と教員代表(第3学年職員中心)による「早口言葉バトル」も行いました。バトルの結果は圧倒的な差で生徒代表の勝利でした。

1日を通して、生徒たちの顔に笑顔があふれた、夏椿祭が実施できました。生徒たちの心に鮮やかな思い出となる、大成功の夏椿祭になりました。



※11月は下野市「いじめ防止強調月間」です。

二中学校区全体でいじめ防止に取り組みます。児童生徒一人一人の個性を認め合い、すべての児童生徒、保護者の皆様が笑顔になれるよう、学校だけでなく、社会全体として「いじめは絶対ダメ」が実現できるようご協力をよろしくお願いいたします。

※この「なつつばき」も含め、カラーの記事を、本校のホームページに掲載しておりますのでぜひご覧ください。QRコードをカメラで読み込んでご覧ください。スマートフォンやパソコンに下記URLをご登録いただき、定期的にホームページをご覧くださいませにさせていただきますと便利です。

http://www.school.shimotsuke.ed.jp/j_school/nankadaini/index.html



☆令和6年度とちぎっ子学習状況調査結果(南河内第二中の概要)

第2学年を対象に、栃木県教育委員会が主体となって実施している県版の学力調査である「とちぎっ子学習状況調査」の本校の結果(平均正答率等)をお知らせいたします。本校の2年生の結果は概ね良好でした。しかしながら課題も見られますので、今後この結果もとにさらなる指導の改善に努めてまいります。

○実施日 : 令和6年4月18日(木) ○実施教科: 国語・数学・英語・社会・理科



【学力調査】結果(栃木県の平均正答率との比較)

「平均正答率の記号の凡例」

- ☆: 特に大きく上回ってる。(15ポイント以上)
- ◎: 大きく上回っている。(10ポイント以上15未満)
- : 上回っている。(5ポイント以上10ポイント未満) ー: 同程度(±5ポイント未満)

(1) 教科全体の比較と傾向(県平均正答率(%)との比較)

	国語	数学	英語	社会	理科
県との比較	○	○	◎	○	ー

(2) 「知識・技能」、「思考・判断・表現」別の比較(県平均正答率(%)との比較)

	国語	数学	英語	社会	理科
知識・技能	○	○	◎	○	ー
思考・判断・表現	○	◎	○	○	ー

(3) 領域別の比較(県平均正答率(%)との比較)

国語	比較	数学	比較	英語	比較	社会	比較	理科	比較
言葉の特徴や使い方	○	数と式	○	聞くこと	○	地理	○	エネルギー	○
我が国の言語文化	ー	図形	○	読むこと	○	歴史	○	粒子	ー
話すこと・聞くこと	ー	関数	◎	書くこと	◎			生命	ー
書くこと	ー	データの活用	○					地球	ー
読むこと	○								

- (結果の概要) ・全教科とも、合計では県平均を上回っており、特に英語は大きく上回っている。
 ・数学の「関数」、英語の「書くこと」では大きく上回る結果となった。
 ・理科の「生命」は県平均を下回っており、課題といえる。

☆令和6年度全国学力・学習状況調査結果

第3学年を対象に、文部科学省が主体となって実施している学力調査である「全国学力・学習状況調査」の本校の結果(平均正答率等)をお知らせいたします。本校の3年生の結果は良好でした。この結果をもとに今後とも確かな学力の向上に努めてまいります。

○実施日 : 令和6年4月18日(木) ○実施教科: 国語・数学

【学力調査】結果(全国の平均正答率との比較)

「平均正答率の記号の凡例」

- ☆: 特に大きく上回ってる。(15ポイント以上)
- ◎: 大きく上回っている。(10ポイント以上15未満)
- : 上回っている。(5ポイント以上10ポイント未満) ー: 同程度(±5ポイント未満)

(1) 教科全体の比較と傾向

(全国の平均正答率との比較)

	国語	数学
全国との比較	○	◎

(2) 「知識・技能」、「思考・判断・表現」別の比較(全国の平均正答率との比較)

	国語	数学
知識・技能	○	◎
思考・判断・表現	○	☆

(3) 学習指導要領の領域別の比較と傾向

(全国の平均正答率との比較)

国語	比較
言葉の特徴や使い方	◎
情報の扱い方	◎
我が国の言語文化	ー
話すこと・聞くこと	◎
書くこと	◎
読むこと	○

数学	比較
数と式	☆
図形	☆
関数	◎
データの活用	○

※これらの県・全国の調査結果は学力の一部であり、また学校における教育活動の一側面です。

(結果の概要)

- ・国語の「言葉の特徴や使い方」「情報の扱い方」「話すこと」「聞くこと」「書くこと」は全国平均を大きく上回る結果となった。
- ・数学の「数と式」「図形」は全国平均を特に大きく上回っている。
- ・国語の「我が国の言語文化に関する事項」では全国平均を下回っており、課題といえる。